

+ Viva Kango

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学



平成十六年度 入学式

例年よりも多くの雪の残る四月五日、本学講堂にて、平成十六年度入学式が厳肅な雰囲気のもと挙行されました。

本年度入学生は、大学院修士課程七名、看護学部一〇名（男子十四名、女子九六名）で、一同、少し緊張した面持ちで父母や関係者に見守られながら、式に臨みました。

式では入学生全員の名前が読み上げられ、入学が許可された後、松本光子学長からの式辞、日本赤十字学園理事長近衛忠輝氏（青木行雄常務理事代読）の挨拶、北見市長神田孝次氏および日本赤十字社北海道支部長伊藤義郎氏（佐々木康昭事務局次長代読）のご祝辞があり、多くの祝電も披露されました。次に、在学生を代表して学生自治会長二瓶知帆さんから歓迎の言葉が、入学生を代表して安藝依澄さんから誓いの言葉が述べられました。



入学生代表

入学式終了後に記念撮影が行われ、希望に満ちた大学生活がスタートしました。

新入生歓迎会



新入生歓迎会

入学式の翌日四月六日には、学生自治会主催による新入生歓迎会がアリーナで行われました。

学生や教員などが大勢参加する中、松本学長の挨拶のあとジュースで乾杯。また、テーブルに用意された食べ物を楽しみながら、教員のあいさつと部活動の様子を興味深げに聞き入り、抽選会に興じました。

先輩達に歓迎され、期待と不安に満ちた新入生達は、さいさきの良いスタートを切ったのではないのでしょうか。

新入生歓迎のことば



学長 松木 光子

今年は何看護学部にも第六回生として一〇名、そして修士課程に第二回生として七名が入学されました。入学生とご家族の皆様にお慶びを申し上げます。入学おめでとうござい

本来大学は、それぞれの学生が将来社会に貢献すべく自己をより高く、より深く、より広く研鑽する場所であります。英語に culture という言葉があります。通常「文化」という言葉とうけとつていますが、語源は「耕す」というラテン語であります。したがって、教養や洗練、訓練などの意味もあります。

本学での学生時代を有効に過ごして、将来の発展のために、専門分野としての看護学はいうまでもなく、地域の人々や自然、文化との交流も深めて、自己の土壌を耕して下さい。共に耕し、創生して、将来花が咲くことを願って歓迎のあいさつとします。

新入生のことば



学部1年 旗手あゆみ

この大学に入学してから三ヶ月がたちました。緊張と期待を胸に入学式を迎えた日が、つい昨日のように思い出されます。大学生活は何もかもが新鮮で、毎日が刺激の連続です。先輩方は皆輝いて見え、また素晴らしい仲間がいて、この大学は充実した学生生活を送ることのできる最良の環境にあると思います。私たち新入生にとって、長い

大学生活はまだ始まったばかりで、きつとこの先大きな壁が立ちほだかることもあると思います。しかし、周囲には同じ目標を持った仲間が大勢います。互いに励まし、信頼し合える関係を築いていきたいと思っております。この大学の学生であることに誇りに思い、一生懸命勉学に励んでいきます。



大学院 松崎 聡実

長年の夢が叶って十七年ぶりに「学生」をしています。入学式では「保護者の方じゃないん

第二回卒業式

卒業生一〇九名の新たな出発！



平成十六年三月十日、平成十五年度日本赤十字北海道看護大学卒業式が父母・来賓・教職員他関係者の臨席のもとに盛大に挙行されました。

晴れ着を身につけた一〇九名の卒業生は、緊張のうちに喜びに溢れた表情で出席しました。日本赤十字の式典で最初に唱われる貞明皇后の御歌「四方の国」が斉唱され、開式をより荘厳な雰囲気になりました。続いて松木光子学長より卒業証書と学位記が授与され、卒業生代表として菅沼茜さんが受け取りました。松木学長は式辞で、看護専門職人としての新しい出発点とするよう励まされました。日本赤十字学園近衛忠輝理事長

挨拶（時光理事による代読）に続いて来賓の方々の祝辞があり、赤十字の理念である人道の実践者としての期待が寄せられました。在学生から送辞が述べられた後、卒業生を代表して林桐代さんが答辞を述べました。助産学を選じた林さんは、生命の誕生に関わった感動について述べ、大学祭・看護研究のポスター発表などの思い出とともに、在学中に受けた友人・家族からの励まし、とりわけ看護学実習で出会った患者さんからの笑顔と励ましに支えられたことを述べました。

最後に花束贈呈があり、後援会・同窓会・学生自治会・教職員等から、祝福と喜びが託された花束が卒業生代表に贈られ、華やかな雰囲気の中に閉式となりました。

第二回スポーツ大会開催

五月十五日(土)第二回スポーツ大会が開催されました。この日はとても日差しが強く、スポーツをするのにぴったりな一日でした。種目は、前回の大会で盛り上がったバレーボールです。五〇人と少ない参加人数でしたが、学年や性別を問わず、全員で楽しむことができました！一位は三年生男子が率いる「ストロベリ」をカットで、二位は一年生女子を中心とした「女子団」で大健闘の結果に終わりました。





第6回 大学祭 Cross Hearts Festival

小夜鳴鳥2004 ~光れ青春ホタルの輝き~

六月二十六日(土)、二十七日(日)の両日、大学祭が「小夜鳴鳥2004~光れ青春ホタルの輝き~」というテーマのもとで行われました。

両日とも初夏という季節にもかかわらず、日中の気温が盛夏なみに上昇し、厳しい暑さの中での開催となりました。硬軟入り混じった興味深い企画が目白押しで、どこへ行くこうか選択に悩んだ方も多かったのではないのでしょうか。

看護大学ならではの企画としては、「ヘルスチェック」(受診者三六九名)、「看護の体験教室」(体験者六一名)、「ピアッ子クラブ」による人工妊娠中絶の話、医療を考える会による正しいダイエツトの話、とさんこ海外保健協力会のワーカーとしてカンボジアで活動している船田和加医師による講演など、大変内容が充実していました。

野外ステージへと目を向けると薄荷童子によるよさこい、Z.N.C.によるゴスペル、八〇歳の参加者が優勝したカラオケ大会、本学音楽部によるハンドベルの演奏、ダンスユニットによるダンスの披露などパフォーマンスの部も充実していました。



中庭、ホールではチャリティバザーや食欲を刺激してやまな模擬店などに多くの人が集まっています。献血、骨髄バンク登録も例年通り実施されました。後夜祭ではアリーナに学生、教職員が集まりゲーム、バンド演奏で熱く盛り上がり、フィナーレを飾る花火大会へと進みま



した。北見の澄んだ夜空に打ち上げられる美しい花火に歓声を送りつつ、今年の大学祭が無事終了しました。

ホタルのように明るい光を放ちながら参加者全員が燃焼した大学祭となったのではないのでしょうか。実行委員会の皆さん、大学祭を盛り上げてくれた学生の皆さん、運営を支えてくれた教職員の皆さんご苦勞様でした。

第6回 日本赤十字北海道看護大学大学祭

Theme
ナイチンゲール
小夜鳴鳥 2004
~光れ青春ホタルの輝き~

Event

よさこい『薄荷童子』
6/26(土) 12:00-13:00

ゴスペルLive『N.N.C』
6/27(日) 14:00-15:00

音楽部の演奏
6/27(日) 19:00-21:00

他) ダンス、カラオケ etc...

Date
6/26・27
(SAT) (SUN)
AM 10:00-PM 4:30

Map
日本赤十字北海道看護大学

主催：日本赤十字北海道看護大学学生自治会・大学祭実行委員会



松木光子学長 日本看護診断学会功労賞を受賞

第十回日本看護診断学会大会が六月十九日から二日間大阪市で開催され、十周年を記念して、松木光子本学学長に、学会の事業を通じて看護の質向上のための貢献に対して功労賞が授与されました。

看護診断は、看護師が診断し治療する健康問題/生活過程に対する個人・家族・地域社会の反応についての臨床判断のことです。北米で一九七〇年代から開発・発展してきましたが、北米看護診断協会(NANDA)の看護診断分類法が世界的に使用

されています。我が国でも松木光子氏を中心に、一九九五年に日本看護診断学会が発足、研究、開発、普及に貢献しています。

赤十字フェスタ開催

平成十六年五月十五日(土)、三十度を超える暑さの中、総合病院北見赤十字病院において「赤十字フェスタ2004」北見が開催されました。お年寄りから子供にいたるまで多数の方が参加され、豚汁・おにぎりの無料サービスでは、あつという間



におにぎりが無くなってしまっただけでした。看護大のボランティア部は、暑い中、駐車場で行われたお祭り広場で豚汁のサービスやゲームコーナーでお手伝いを頑張っていました。また、別館二階では医療系進路相談が行われておりこちらも好評で、

平成16年度入試概況

試験区分	推薦入学試験		一般入学試験	大学入試センター試験利用入試
	公募推薦	指定校推薦		
募集人員等				
募集人員	35名	10名	45名	10名
志願者数	58名	11名	224名	158名
受験者数	58名	11名	208名	158名
合格者数	39名	11名	91名	43名
実質倍率	1.5倍	1.0倍	2.3倍	3.7倍

■入学者(出身高校)都道府県別内訳

北海道87名	青森県1名	岩手県1名	宮城県1名
秋田県2名	福島県2名	茨城県1名	群馬県1名
埼玉県2名	東京都1名	神奈川県1名	新潟県3名
静岡県1名	愛知県2名	滋賀県1名	大阪府1名
徳島県1名	宮崎県1名		

■入学者(出身高校)北海道地域別内訳

網走支庁34名	石狩支庁14名	後志支庁1名
上川支庁15名	渡島支庁2名	空知支庁5名
胆振支庁1名	日高支庁1名	十勝支庁8名
釧路支庁6名		

男女別内訳



新卒・既卒者別内訳



平成17年度大学院看護学研究科 看護学専攻修士課程学生募集について

- 募集人員 6名
- 募集専門系(領域)
 - 基礎看護学系…基礎看護学領域
 - 実践看護学系…成層看護学領域、急性期看護学領域、地域看護学領域
 - 臨床薬理看護学系…臨床薬理看護学領域
- 入学試験日程

試験区分	出願期間	試験日
1期	平成16年 9月1日(水)~9月21日(火)	平成16年 9月26日(日)
2期	平成17年 2月1日(火)~2月21日(月)	平成17年 2月27日(日)

詳細は、学生課入試係まで(0157-66-3311(代))

大学敷地内全面禁煙へ

健康増進法が平成十五年五月に施行され、本学としては、同法律の趣旨を踏まえ、禁煙環境の整備及び禁煙教育を推進することが保健医療を担う看護教育機関としての責務と考え六月十七日の教授会で、平成十七年一月一日から大学敷地内全面禁煙を導入実施することにいたしました。禁煙化推進のため、ご協力をお願いします。

多職種のメデイカル・スタッフが親切に質問に答えていました。看護大のビデオも上映されており、高校生が熱心に見入っている光景も見られました。

教職員人事

【退職】平成十六年三月三十一日付
講師 沼田 靖子、佐藤 久江
助手 西村めぐみ、島 明子
飛弾野幸子(旧姓 福川)

【採用】平成十六年四月一日付
教授 河野 啓子

講師 塚家 修子
助手 塚田 蘭子、堀口 亜矢

【昇任】平成十六年四月一日付
助教授 西片久美子

助教授 中村 陽子
講師 吉田 和枝

編集後記

北見の街が花々で美しい季節に編集が始まりましたが、皆様のお手元に届くのは夏休み前の暑い季節となるでしょう。卒業生を二回送り出し、新入りキュラムがスタートし、大学院生は二年生が揃います。大学の話題は多種多様です。学内の話題は多種多様で、本誌の記事にどれを掲載しようかと嬉しい悩みを持つようになりました。本誌は皆様からの掲載記事をいつもお待ちしております。広報委員会にご一報ください。大学内外の支援を頂いて今後も頑張ります。

日本赤十字北海道看護大学学内誌

+ Viva Kango

第11号

発行日/2004年7月20日
編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市藤町664-1
Tel.0157-66-3311 Fax.0157-61-3125
mail to : kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp
http://www.rchokkaido-cn.ac.jp